

科目名	地域文化論	英文表記	Regional Culturology	平成23年3月18日			
科目コード	4019						
教員名：下郡剛 技術職員名：			作成				
対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
生物資源工学科	4年	必	履修	1単位	講義	後期	
目標及び評価方法	目標項目			評価方法及びその割合			
	①沖縄地域社会の理解を目的とし、沖縄の文化・歴史・地理風土などについての認識を深める。			① (100%) PBL研究発表で評価する(但し評価の対称は、取り組み・討論の内容等を含む)。			
	②			② (%)			
	③			③ (%)			
	④			④ (%)			
	⑤			⑤ (%)			
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称		全プログラム
	○	○	○	◎	JABEEプログラム教育目標		B-2,B-3,C-2
授業概要、方針、履修上の注意	<p>資・史料を提示し、歴史学的方法論を併せて説明することで、科学的・論理的に考える能力を高める。</p> <p>班単位で学生自ら課題を設定し、調査・発表・全体討論を行う。</p>						
教科書・教材	教員が編集したプリント、プレゼン資料						
授 業 計 画							
回数	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				予 習 項 目
1	1年間のガイダンス・PBL班	2	授業の方針・進め方等についての説明。PBL班				
2	第1回PBL班会議	2	第1回目のPBL班会議を行い、沖縄の産業・文				
3	沖縄戦―教科書問題とメディア	2	現在における沖縄戦認識の一つとして、教科書				
4	沖縄戦―軍事史としての視点	2	太平洋戦争全体の中における沖縄戦の意義、				
5	沖縄戦―軍事史としての視点	2	沖縄側の視点から日本軍の沖縄防衛計画とそ				
6	第2回PBL班会議	2	翌週のPBL中間報告の準備。				
7	PBL中間報告	2	班単位で設定した課題について、これまで調査				
8	第3回PBL班会議	2	前回の中間報告を踏まえ、今後の課題と対応方				
9	沖縄戦―住民被害の実態1	2	住民被害は何故生じたのか、その背景につい				
10	沖縄戦―住民被害の実態2	2	住民被害は何故生じたのか、その背景につい				
11	第4回PBL班会議	2	次回からの発表にそなえ、最後の会議を持つ(P				
12	1・2班PBL研究発表	2	1・2班で調査した課題の最終発表と討論。(PB				
13	3・4班PBL研究発表	2	3・4班で調査した課題の最終発表と討論。(PB				
14	5・6班PBL研究発表	2	5・6班で調査した課題の最終発表と討論。(PB				
15	戦跡の現在	2	戦争体験者の報告と、当地の現在の様子をスラ				
学習時間合計		30	実時間			25	